



安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」

ミッション	地域社会に貢献できる生徒の育成	ビジョン	主体的で協調的な学びの推進
学校教育目標	学びを生き方につなぐ教育の創造	学校研究主題	深い学びを引き起こす授業づくり
めざす生徒像	挑戦 感動 感謝の心をはぐくむ生徒		～「知識構成型シグノー法」を取り入れた単元開発を通して～

中期経営目標	短期経営目標	評価項目及び評価方法	評価基準	担当	中間評価	最終評価	達成状況及び改善策(カッコ内の数値は前期)	評価委員の意見(最終)		
学力の向上	学習意欲の向上と自主学習の充実	基礎的・基本的な知識・技能の定着	①生徒アンケート （「なぜ学ぶのか自ら考える」肯定的回答率） ②自主学習ノート提出率 ③学力調査等 （県や全国平均以上の生徒の割合）	教務研究部	B	B	①「なぜ学ぶのか自ら考える」…75.7% (65.8%) ②自主学習ノート提出率…最高 70.0% (70.0%) ③全国学力・学習状況調査(3年生) 69.0%	先生方が日頃より意識して指導・助言をされていることで、生徒の「学ぶ意義」についての意識が高くなってきていると思う。 個別の学習支援について努力していただいているが、生徒が中学校を卒業した後に、難題にぶつかって挫折してしまうケースが多いように思う。「なぜ学ぶのか」の土台として、芯の強さや柔軟な考え方も必要ではないかと思う。 生徒の学習意欲の向上が見られる。先生方のご指導のお陰によるものと思う。家庭での自主学習には家庭での協力が不可欠だと思うので、先生と保護者との信頼関係をさらに深め、取り組んで頂きたい。 自主学習は生徒自身が目標を定めて、継続して取り組むしかないが、意識は高くなってきていると感じる。自己評価がやや厳しめのように感じるが、高い目標をもって今後も継続して取り組んでほしい。		
	協調学習の実践	深い学びを引き起こす授業の実践	①教職員授業評価アンケート （『話し合う活動』の肯定的評価） ②生徒授業評価アンケート （『話し合う活動』の肯定的評価）				B	A	①「話し合う活動」(教職員)…87.9% (68.6%) ②「話し合う活動」(生徒)…87.9% (88.2%)	話し合い活動について、語彙力や基礎知識、その教科特有の専門用語、論理的に話す力など色々な要素が関わってくると思う。それらを整理・分析しながら深い学びにつなげていってほしい。 協調学習の様子を参観し、素晴らしい取組であると感じた。小規模校であるがために実施の難しさがあるかもしれないが、引き続き実践していただき、生徒の力を伸ばしてほしい。 学力の向上のためには、学習者自身が常に努力することが必要だと思う。
社会に貢献する力の育成	自らの成長が実感できる	進路指導の充実及び進路実現に向かう意欲・態度の向上	①保護者アンケート （進路に関する情報提供への肯定的評価） ②生徒アンケート （自分には良いところがある・挑戦しているところがあるへの肯定的評価） ③英語検定等の受検率	生徒安全部	B	A	①「進路に関する情報提供」…100% (100%) ②「自分には良いところがある」…89.2% (81.6%) 「挑戦しているところがある」…86.5% (86.8%) ③英語検定等の受検率 97.4% (50.0%)	地域の行事などで、個性豊かな姿や社会人としてのふるまいができていて姿を拝見し、立派だと感じた。 将来の進路やそれに係る各種検定の受検率も高いので、今後も継続して取り組んでほしい。		
	実践意欲の育成	自己肯定感の向上	① i-check・生徒アンケート （自己肯定感の肯定的評価）				B	B	①自己肯定感…71.9% (72.1%)	自己肯定感について全国の調査結果とも比較しながら分析をしていけるとよい。 自己肯定感の低さは、謙虚さからくるものなのか、自信のなさからくるものなのか、生徒との面談を通して把握して取組につなげてほしい。 他者からの評価が低いという点が気になる。より一層の指導をお願いしたい。 自分への評価と他者からの評価に差があるのは当然だと思う。自己満足で終わらせないためにも、他者からの厳しい意見にも耳を傾け、がんばる人になってほしい。
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	① 生徒アンケート・生徒の感想 ② 保護者・地域アンケート （「ボランティア・地域活動等参加」への肯定的評価）				A	A	①「地域活動(ボランティア)には積極的に参加している。」…81.1% (65.8%) ②「地域活動への参加やボランティア活動の実施は、生徒の社会貢献への意欲を育むことにつながっている。」…100% (100%)	自分たちは地域から頼りにされていると、自分たちの存在が地域を元気づけているということが感じられる取組を今後も続けてほしい。 生徒会を中心にボランティア活動にとってもよく頑張っていると思う。今年は特に「やらせる活動」から「自ら進んで行う活動」へ変化したと感じている。このよい流れを継承し、生徒が「無理なく」「負担なく」「心地よい程度の緊張感」とストレスを感じながら活動していき、地域の方々から喜ばれるような取組を進めていってほしい。 社会貢献活動を通して、生徒が自分の将来について考える場面を設定したり、日々の学習内容と地域貢献活動が繋がっていく活動をしていけるとよい。
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	①保護者アンケート ・学校教育に対する満足度 ・「地域公開・授業公開」「ホームページ・学校通信等情報発信」に対する肯定的評価	総務部	A	A	学校教育に対する満足度…94.8% (92.8%) 地域公開・授業公開…100% (96.6%) ホームページ・学校通信等情報発信…100% (96.6%)	保護者との信頼関係も良好で、引き続き分かりやすい広報をお願いします。 家庭と地域とで教育について考えていき、これからも引き続き信頼される学校づくりを進めていってほしい。 教職員は学校の顔でもあるので、しっかり地域にアピールをしていってほしい。		